

街歩きヒストリア

(67)

中の棚稲荷神社

立町



商店や銀行が並ぶ通りに鎮座しています。

広島城下には3か所の魚市場がありました。東魚屋町と言われたこのあたりは、そのひとつ。他の2つ（京橋町と現在の袋町付近）の間に位置していたことから「中の棚」と呼ばれるようになりました。

ここに鎮座するのが「中の棚稲荷神社」。境内由緒書には、江戸時代中期に勧請され「商売繁盛・地域安全」を願う守護神になったとあります。神社は原爆で焼失しましたが、10年後に再建。住民らが維持しています。

毎年6月の神社例大祭に併せ、2012年から立町町内会と中の棚商店街が協力して「中の棚運気を揚げんさい」を開催しています。



広島城下町の川ざらえを励ます祭り「砂持加勢」を、町の人々は蛸の山車で応援。それにちなみ、イベント中などは境内に蛸が飾られています。

(文・写真 高山 望さん)

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力などを紹介するコラム「街歩きヒストリア」。

